

ETRS-WHS-SKINTERM 2024に参加して

慶應義塾大学医学部形成外科 特任助教

高谷 健人

2024年9月25日から27日にかけて、オランダ・アムステルダムにて開催された ETRS-WHS-SKINTERM 2024 に参加しました。本学会は日本創傷治癒学会とも提携のあるEuropean Tissue Repair Society (ETRS)が主催するもので、ヨーロッパ各国の創傷治癒に関連する研究者が一堂に集合する年次集会です。5月のWHS annual meetingに引き続き、自分の研究成果の発表とヨーロッパの学会の雰囲気学ぶために今回応募しました。

開催地であるアムステルダムは、首都であるアムステルダムから高速鉄道で40分ほどの田舎町です。12世紀に城壁が建築されたことを始めとする、中世の街並みが残る城塞都市で、いわゆる観光名所は少なく、のどかな空気が流れていました。観光客もまばらであり、学会に集中するにふさわしい環境でした。

学会の規模はそれほど大きくなく、一つの大きな部屋でテーマごとに複数のspeakerがプレゼンテーションをし、質疑応答を繰り返すという流れでした。参加者は大半がヨーロッパ、一部アメリカ人がおり、日本に限らずアジアからの参加者は私一人でした。もともと多くの研究者が知り合い同士のようで、国際学会とは銘打っているものの、雰囲気は日本の「地方会」に近いものでした。それでも休憩時間を含め各国の研究者たちとコミュニケーションをとる機会は多くあり、私の行っているマウス胎仔創傷治癒モデルについても興味を持っていただきました。

私個人の発表は poster session に採択されたので、2日目に発表の機会が与えられました。会場は非常に狭く、その分発表用のポスターもA1の小さいサイズにまとめる必要があり情報の取捨選択やレイアウトに苦労しました。1時間にわたり自由にポスターを閲覧しコーヒーを片手に議論していくスタイルは、WHSでも同様に欧米の研究者の典型的なスタイルですが、我々日本人にはなじみのない光景で、緊張しました。それでも、私の研究に関心を持ちたくさんの質問やアドバイスをいただき、大変刺激的な経験になりました。

また、日本の学会はその多くが研究者、特に医学的な内容の場合は医師や看護師がメインとなりますが、ETRSを含む海外の学会は、企業の開発者・研究者が多く参加しているという点も特徴だと思います。研究で



日本創傷治癒学会
2024.11
No.144

●日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学

医学部形成外科学教室内

tel.03-3351-4774

fax.03-3352-1054

e-mail : info@jswh.com

URL : <https://www.jswh.com>

得られた知見を、製品開発や臨床試験を以て社会に還元しようとする動き、そしてそれに対する熱量は日本とは比にならないものであり、ビジネス的な視点を失いがちな研究者にとって産業面からのディスカッションがなされるということは、科学の発展そのものにも寄与する重要なことだと考えます。今回得られた知見のみならず、研究者として必要なマインドは、帰国後の研究生活にも活かしていきたいと思います。

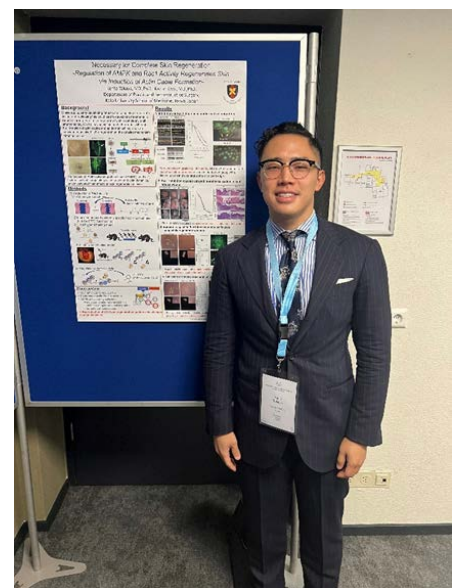
最後に、移動を含め約1週間にわたる国際学会参加をご快諾いただいた慶應義塾大学医学部形成外科貴志和生教授ならびにラボのメンバーにこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。



会場入り口



会場



ポスター会場にて



漢方製剤にとって「良質」とは何か。その答えのひとつが「均質」である、とツムラは考えます。自然由来がゆえに、ひとつひとつに個性がある生薬。漢方製剤にとって、その成分のばらつきを抑え、一定に保つことが「良質」である。そう考える私たちは、栽培から製造にいたるすべてのプロセスで、自然由来の成分のばらつきを抑える技術を追求。これからあるべき「ツムラ品質」を進化させ続けます。現代を生きる人々の健やかな毎日のために。自然と健康を科学する、漢方のツムラです。

良質。均質。ツムラ品質。



株式会社ツムラ <https://www.tsumura.co.jp/> 資料請求・お問合せは、お客様相談窓口まで。

医療関係者の皆様 tel.0120-329-970 患者様・一般のお客様 tel.0120-329-930 受付時間 9:00～17:30(土・日・祝日は除く) 2021年4月制作 (審)